

# 令和5年度 泉区地域と学校をつなぐ研修会（報告）

日 時：令和5年6月22日（木）14：30～16：45

会 場：根白石市民センター

## 1 参加者

所 属	人 数	所 属	人 数
泉区内市立学校 （内嘱託社会教育主事）	46 （11）	学校支援地域本部スーパーバイザー等 （内学校運営協議会委員兼任）	17 （5）
泉区内県立学校	2	学校運営協議会委員	11
泉区保健福祉センター管理課	2	子ども会育成会	4
泉区保健福祉センター家庭健康課	3	泉区内 地区市民センター	15
教育局関係部署	5	計	105

## 2 内容

### （1）開会行事（14：30～）

- ①あいさつ 仙台市嘱託社会教育主事研究協議会泉区部会顧問  
泉区まちづくり推進部泉区中央市民センターセンター長
- ②本日の流れについて 泉区まちづくり推進部泉区中央市民センター主査

### （2）研修（14：40～16：30）

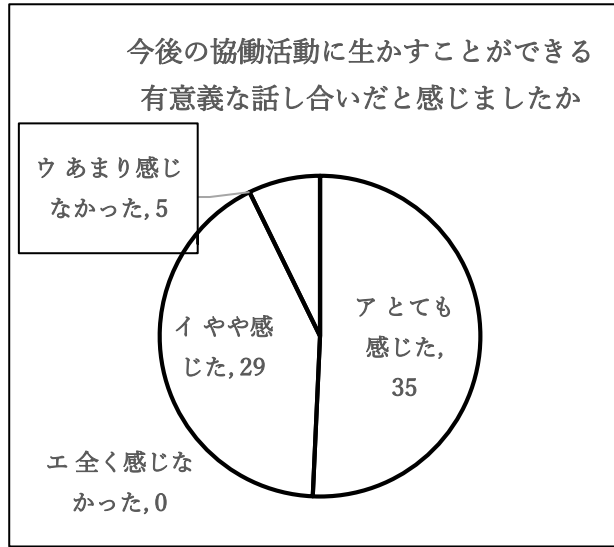
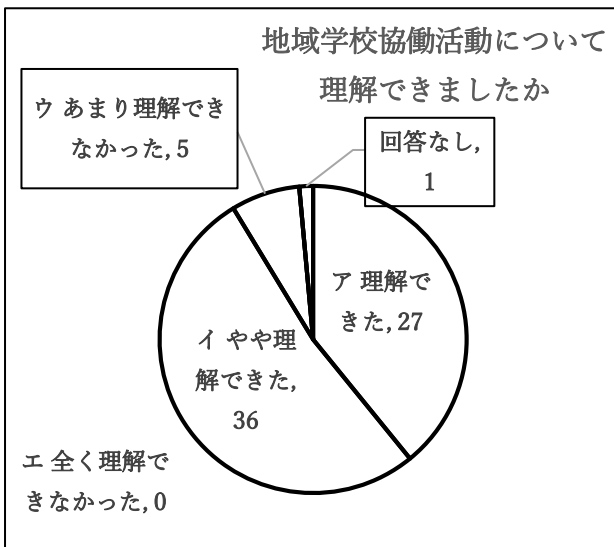
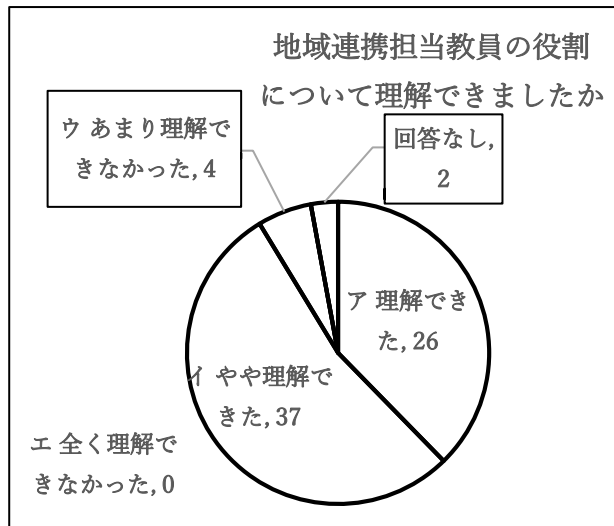
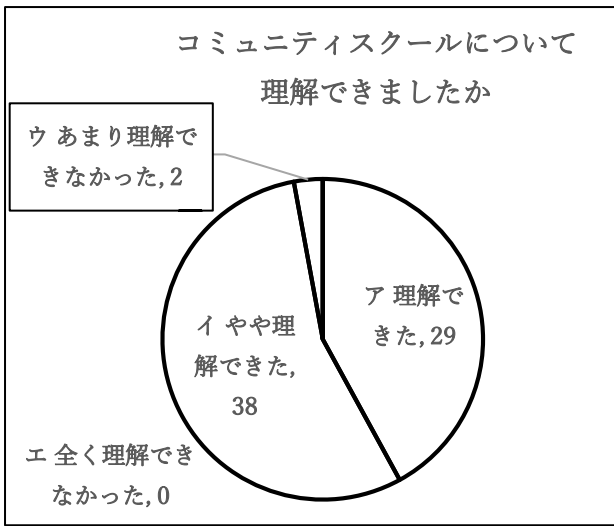
- 全体研修1 泉区内小学校の事例紹介
- グループ研修A 所属ごとにグループワーク
- グループ研修B 中学校区ごとにグループワーク
- 全体研修2 ～ファシリテーションスタイルで研修～  
地域学校協働活動推進について  
地域連携担当教員の役割

### （3）閉会行事（～16：45）

- ①あいさつ 仙台市嘱託社会教育主事研究協議会泉区部会部長
- ②諸連絡 \*事務局



～アンケート結果～



Q 「子どもたちが過ごしやすい地域づくり」を目指すために今後話し合いたいテーマはありますか。

A

- 苦にならない自発性を促す地域団体の創出（または維持）地域人材となる子どもたちの育成。
- 既存の行事をもとにどのように工夫したら「子どもたちが過ごしやすい地域づくり」活動できるのか。
- 地域で「こんな子に育てたい」と目標を掲げ、目標に向けて地域や家庭で具体的に何ができるか？
- 近くに住んでいるのにお互いを知らないというようにならないよう、地域全体で子どもたちを育てていくような話し合いができればと思います。
- ジュニアリーダーの役割、活動をテーマにして欲しいと思います。
- 子どもたちの参加行事とは…
- 地域人材のを見つけ方、活用の仕方について。
- CS（コミュニティ・スクール）、協力しての動き。
- 「現状と課題」
- 地域の中での学校以外の居場所づくり。
- 学校と地域が関わるメリットについて。
- 各地域連携活動の実践例を詳しく知りたい。準備や関わる方の人数、活動の様子（成功、失敗）など。

- 寺岡小の「9年間で子供達を育てて行こう」というスローガンのもと、活動しているお話を聞いて素晴らしいと思いました。小学校、中学校の連携を密にし、今後より良い地域、学校にしていけるといいと思います。
- 各地域連携活動の実践例を詳しく知りたい。準備や関わる方の人数、活動の様子（成功、失敗）など。
- 学校が、教員が担うべき業務の中で地域とどのように関わっていけばよいか。
- 持続可能な取り組みについて。
- 「安全・安心・たくましく」最初の2つのテーマはよくあるのですが、それに加えて子供を心身たくましく自立していけるようにするために地域としてできることを考えるのもいいかと思います。
- 自分達の地域に適した学校、家庭、地域で協働してできる活動についてもっと話し合いたいです。
- 今後子どもたちを地域の行事に参画させるのに、地域が子どもたちに具体的に何を求めているのかを知る必要があると思いました。
- 地域の中で子ども達がどんな活動をしているのか具体的な現状を話し合う場が必要だと感じました。
- 他地域の取り組み。
- 児童の資質・能力を育む地域連携の学校カリキュラムの具体
- 学校と家庭、地域が子供たちにできること
- 学校、家庭、地域の役割分担
- 子どもたちが何をしたいか、何を感じているかを知り反映させる
- 小中連携と地域連携の一体化
- 小中学校の卒業生が卒業して良かったと思える地区にしたい
- 郷土愛を持ってもらうには
- 地域住民とのかかわりが、ボランティアや防災訓練などばかりで、それが本当に中学生や小学生の子供たちにとって、自分の地域に興味を持ってくれることなのか。他に何かあれば聞いてみたいです。

Q本研修の持ち方や内容について感想、意見があればお答えください。

A・・・○：感想、△：意見

△班分けは学校関係者を主に進めるので仕方ないかもしれないが、市民センター職員1人よりは2人ないし、外部の方1人をまぜて2人とした方が話題にもついていけると思います。

△話し合いのテーマやステップをレジュメに示していただくと見通しをもってグループワークをすることができると思います。終わりの時刻は守る事を意識していただきたい。全体研修2は盛り込みすぎです。

△ワークショップの時間をもう少し増やして欲しいと思います。（自己紹介の時間は5分）

△グループごとの研修について、もう少し時間があるといいと思いました。

○顔の見える人材交流としての意義はあると思います。

○グループ研修が2個あっていろいろな方と話す機会があってよかったです。

○結果はゆっくり作り上げたいです。

○小中連携や地域連携、学校支援地域本部で行っている活動が報告で挙がってます。学校運営協議会で話し合われたものと結びつけられるようにするには内容を学校だけではなく地域や家庭にどのようにして広めるのか、浸透させるのか課題だなあと感じておりました。

△グループ協議の時間が短かすぎるように思いました。

○グループワークは、情報が共有され、とても参考になりました。

○色々な学校や立場の違う視点からの情報交換ができ、視野を広げる事ができました。沢山のご意見を参考にし、今後の活動に生かしていきたいと思います。

○今日は地域連携担当教員として初めて参加させていただきました。初めてなので今日は正直学ぶ立場で参加させていただいたような感じです。本校は支援学校なので今後どのようにCSを進めていったらよいのかを本校に戻り、検討する良い機会となりました。ありがとうございました。

△全体研修とグループ研修を両方行くと時間内では厳しいように感じました。(もっと意見を交換したい)

△2日に分けるか午後1時開催にしたらよいと思います。忙しい中、意見ばかりで申し訳ありません。

○短時間で地域連携担当教諭どうし、中学校区どうしという2セットに分かれて集中して話げできたことが良かったです。他の地域の事例などもっと知りたいと思いました。

○「地域と学校をつなぐ」ということで学校の地域連携担当者だけでなく、公所や市民センターの方、SV(スーパーバイザー)さん等と実際に会って話し合げできたことに意義を感じました。実際に会って話し合げすることで、お互いの立場の理解も深まり協働意識も高まると思ひます。

△始めにクロムブックをどのような場面でどのように使うのかの説明があると良かったです。1回目のグループワークの際には活用できなかったです。

△グループ研修A:どんな話し合げに持っていくのかねらいがあひまいな所がありました。

○「今後は学校の課題(不登校・いじめなど)も正直に…とのお話がありましたげ、先づ先生方(特にお若い先生方)の「壁」を感じる時があります。私たち地域の者はもちろん勉強していく必要がありますげ、先生方(あるいは大学でも)もより深い理解に努めていただけるとより良い連携になつていくと思ひます。信頼関係が何より重要です。信頼していただけるならどこまでもお手伝ひしたいです。

△グループワークの時間をもう少しとっていただければ…

○時間が短く深ぼりできる時間があまりありませんでしたが、他校のコミュニケーションがいろいろあつて、とても参考になりました。

○普段はお会ひできない学校の先生方や学校支援地域本部の方々のお話を伺えて良かったです。

○参考になるお話をうかがえてよかったです。(コミュニティ・スクールについて)

○様々な立場の方々とお話し合げ(グループ研修)がでけ、地域と学校とのかかわりについて考えられたのはとてもよかったです。またこのような機会に関わりたひと思ひます。

○様々な方とお話をすることができ、なおかつ中学校区の方々とも打合せができてありがたかったです。

○グループ研修については、もう少しテーマをはっきりさせて話し合げると有意義かと思ひます。(テーマを具体的に示す。)

○有意義な時間となりました。ありがとうございました。

○他校の先生方の話や取り組みを聞くことができてとても参考になった。また市民センター等の方との情報交換ができたので良かった。

○グループ研修Aについては多少手探り状態であひめてしまった。中学校区での研修は日常的に関わりがあり共感的に情報交換することができた。

○初めての参加でした。今日の研修会での話など参考にして、今後の活動できたらと思ひました。

○中学校区でこのような会議の場を設けていくことも大切だと感じました。

○大変有意義な研修でした。特にコミスの学校区メンバーの意見交換が有意義であつた。

○グループワークBでは、中学校区別に集まることが出来たことで、小学生と中学生の交流の機会や、地域の課題に対しての学校の取り組みなどを知ることが出来た。学齢期の情報はなかなか得られにくい中、とても貴重な機会であつた。また是非、参加させて頂きたい。

○今回の研修では、それぞれの学校の取り組みを教へていただき、今後の活動に役立てたいと思ひました。同じ中学校区の方々のお話も聞けると良かったと思ひました。

○市民センター、町内会の方々と教員が話をする機会があまりないので、貴重な機会になった。それぞれの立場が違うので、話し合いの中で責任を持って結論を出すことはなかなか難しいが、本日の研修では適切な時期に適切なテーマで話し合うことができ、良い経験になった。

△もう少し、時間が欲しかった。

○自分に CS や地域学校協働などの基礎知識がなく、子ども会は何をするのか（子ども会に求められる役割）とのリンクがとれなかった。

○同じ中学校区の先生方と話せて良かった。時間がたりなかった。

△グループ研修のお題が要項などに挙げられており、予め決まっているのであれば、もっと内容の濃い話ができただのではないかと思う。

○メンバーを変えて2回の話し合いの持ち方は良いチャレンジだった。あと5分くらい時間を増やしたい。グループで話し合うテーマが何か視覚的にわかるように表示したい。これだけ多様な皆さんが集まる機会なので、フリーで動いて交流したいが時間的に確保する時間も難しいと思う。「受付・フリー交流」などの気持ちで参加したいし、参加してもらいたい。Google フォームでのグループの共有、アンケート、いいですね！

○チャット GTP を使って挨拶文を生成する話題はとても新鮮でした。CS でなにかイベントをしなければならぬわけではないと聞いて、ゆっくり地域ごとの在り方を考えていけばよいのだと安心しました。研修時のパワポを資料にしたものがあるとよかったです。グループワークについては、何について話し合うのかを用紙でも配布してもらえると、メモをとれてよかったかなと思います。

○研修、多くないですか？毎回集まる人同じですよ。結局こういう研修会の多さも先生の仕事の負担になって、保護者が積極的に参加しない原因のひとつかもしれませんね。一番届いてほしい、参加してほしいターゲットにこういう活動内容はあまり理解してもらえてない気がします。地域で子供たちを育てる理想の未来の前に、家庭や地域の人に身近な学校をもっと興味を持ってもらえるようにしていきたいと思います。

△テーマを設けて、それに基づいてグループで話し合った方が多くの意見が出やすいと思います。

○コミュニティ・スクールについてまだ理解できていない状況でした。(第1回は別な教員が出たのでそのため?) 基本的な部分の理解がおいついておらずすみません。